

目的

- 1 学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善につなげる。
- 2 学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。
- 3 設置者は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援を行う。

1 令和5年度の重点目標

社会ニーズに必要な人材を育成し、業界の即戦力として活躍できる教育活動推進のための学習環境の構築と職員の資質向上を目指す。

2 令和5年度の経営方針

学校運営に関する各種制度及び規定関係を整備し、学校運営体制を見直し、強化する。

3 自己評価結果

(A・B・C 採点)

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
重点目標	重点目標の内容は、学校や学生の実態から見て、適切である。	A	昨年のようなコロナ感染予防による蔓延防止措置対策の為の時短は無かったが、今年は、コロナ感染予防に充分配慮しつつ一人一人と対しての授業の取組ができた。
	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	A	年度初めに、学生に対してはロングオリエンテーション、保護者には入学式に保護者会を開き、学校の理念・目的・育成人材像・特色などを時間を設けて説明した。
教育指導	人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	B	業界で活躍している講師、卒業生を招き授業を組んでいる。
	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	A	コロナ禍の中、感染予防対策を考慮し、大勢の来客を招いてのイベントを最低限度の人数で行ったが、学生の達成感満足できるようベスト体勢で行えた。
学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	A	コロナ禍の環境の中ではあったが、校外実習等に取組むことができ、面談時間を十分にとり、実習経験を踏まえ希望に添える形で内定を取ることができた。
	学生に対する経済的な支援制度は整備されているか。	A	修業支援制度を申請し、給付金奨学金・授業料減免制度を取入れた。支援機構の緊急給付金も各校数名ではあったが受理できた。
改善策・次年度に向けた取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションの第二校舎を改修し、調理・製菓を北15条西4丁目へ移転したことにより、新しい校舎でのより良い環境が整い、調理・製菓合同での実践店舗の実施等を行ってきた。引き続き、三校の特徴を生かした授業・実習の充実を図り、インターンシップや実習での経験が就職活動に活かせるよう工夫・改善していく。</li> <li>・少子化の現状から財務は厳しく、月別の経費管理をさらに行っていききたい。経費削減にも限度があるので、バランスを見て、取り組んでいく。</li> <li>・コロナは終息しつつあるが、学生の体調管理・感染予防には、引き続き慎重に取り組んでいきたい。</li> </ul>			

卒業生就職状況

	ファッション				調理				製菓				総計			
	卒業者	希望者	決定者	決定率	卒業者	希望者	決定者	決定率	卒業者	希望者	決定者	決定率	卒業者	希望者	決定者	決定率
令和3年度	18	17	17	100.0%	22	19	19	100.0%	20	16	16	100.0%	60	52	52	100.0%
令和4年度	24	23	21	91.3%	28	28	28	100.0%	6	6	6	100.0%	58	57	55	96.5%
令和5年度				#DIV/0!				#DIV/0!				#DIV/0!	0	0	0	#DIV/0!

各種コンテスト実績（多数入選及び入賞）

ファッション
調理
製菓